

# 【平成31年度新政策】子供のむし歯ゼロ推進事業（健康推進課）

参考資料 4

## 現状と課題

- ・1歳6か月児、3歳児の一人平均むし歯本数・むし歯有病者率は減少傾向にあるが、全国平均より高い
- ・12歳児における一人平均むし歯本数には市町村間で10倍以上の格差がある

むし歯有病率	平成15年	平成28年
1歳6か月児	2.64%（全国11位）	1.57%（全国30位）
3歳児	37.60%（全国30位）	19.88%（全国32位）

12歳児一人平均むし歯本数（平成28年）

最少：有田川町 0.19本

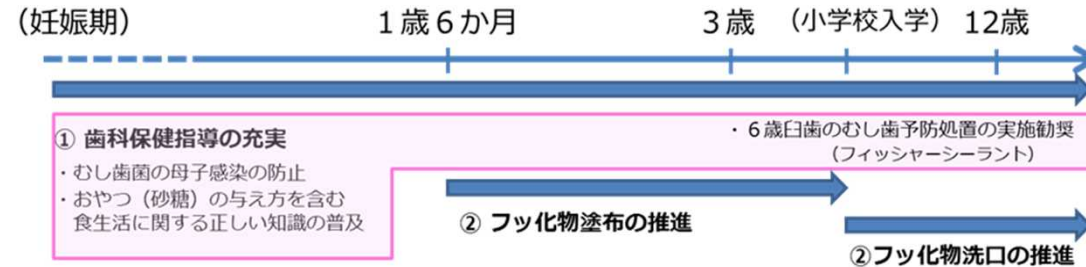
最多：広川町 2.11本

- ・フッ化物塗布を定期的に行っているのは8市町
- ・県内小学校のフッ化物洗口実施状況は114校（47.1%）

## 事業の内容

妊娠期から学齢期に至るまで切れ目ない歯科保健施策を展開し、子供のむし歯ゼロに取り組むことにより、一生むし歯になりにくい口腔内環境を実現する

### <施策のポイント>



	1年目（平成31年度）	2・3年目
① 歯科保健指導の充実 （妊娠期・乳幼児期・学齢期）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦向け乳幼児むし歯予防ハンドブックによる普及啓発</li> <li>・6歳臼歯のむし歯予防処置普及啓発</li> <li>・市町村保健師等研修会開催（8地区）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健推進員研修会開催（8地区）</li> </ul>
② フッ化物応用（塗布・洗口）の推進 （乳幼児期・学齢期）	<ol style="list-style-type: none"> <li>（1）フッ化物応用の効果や安全性に関する研修会開催（紀北・紀南） 対象：地域の歯科医師、歯科衛生士等</li> <li>（2）フッ化物応用の実施に関する研修会開催（8地区） 対象：市町村保健師等、学校関係者</li> </ol>	<p>&lt;フッ化物塗布の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村保健師等研修会開催、歯科衛生士の派遣支援</li> </ul> <p>&lt;フッ化物洗口の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者研修会開催、保護者説明会開催</li> </ul>